



英知 学校だより  
誠実 健康

# 若鷹

尾張旭市立旭中学校

平成27年度 11月号

## 「成長を求めるなら厳しい道を選ぶこと」

— 駅伝大会から —

校長 水野 茂

10月31日(土)、東郷町の愛知池周回道路で「中学生駅伝愛日大会」が行われました。出場校は、女子25校、男子29校(ちなみに愛日地区の中学校は59校)。その中で、旭中学校は、女子18位、男子13位という結果でした。上位5チームに与えられる県大会出場権には残念ながら届きませんでしたが、代表選手たちは、少しでも前との差を縮めようと、襷(たすき)をしっかりとつないで最後まであきらめない走りを見せてくれました。ナイスRUNでした。

駅伝部は7月から10月までの短期の特別な部活動です。誰でも参加できる部活動ですが、今年度の練習参加人数は男女とも少なかったのが事実です。参加者が少ない理由は、「長距離走は苦しいから」「走るのが苦手だから自分は関係ない」「部活もやってるし」といったところでしょうか。

「成長を求めるなら厳しい道を選ぶこと」。これはある会社の相談役である鍵山秀三郎さんが自らの壮絶な経験から語られる言葉です。人間は楽な環境に身を置いているうちは決して成長せず、自分の能力を超えることを求められる環境に身を置いたときにはじめて成長することを意味しています。されば、駅伝部で日々苦しく辛い練習に挑み続けてきた子たちが成長していないはずがありません。きっと誰もが心も身体も強くなっているはずです。

50mや100mの短距離走は、ももとの素質に大きく左右されますが、長距離走は、努力した成果、自分の限界に迫る練習をした結果がタイムに表れる種目だと思います。そして駅伝はチーム競技であり、襷でみんながつながります。自分を成長させたいと思っていたら、ぜひ来年度の駅伝部に参加を。チームみんなで高め合う練習や、襷をつなぐ駅伝に少しでも興味があれば、ぜひ駅伝部に参加を。多くの生徒がひたむきに走って成長する姿と、駅伝の古豪旭中の復活を願っています。ちょっと早いようですが、来年の駅伝部員の募集です。

(※1月2日・3日の「箱根駅伝」をぜひ観てください)

## 「人権週間」に



12月4日～10日は「人権週間」です。人間として生きる権利についてこの機会に考えてみてください。普段の生活の中では、「ひとのいやがることをしない」「自分がされたらどう感じるか」「その人のご家族がどう思うのか」この3つのことを頭に浮かべ、発する言葉や行動の物差しにできれば「人権」から大きく外れることはありません。しかし、時にひとは簡単に心のハードルを下げてしまい、規範意識や相手の気持ちを考えない低いところに跳んでしまうことがあります。跳んでしまった理由を「自分だけじゃない」「相手が悪い。だから許される」としがちですが、本当にそうでしょうか。「人権」を意識する根っこは「自分を大切にすること」、自尊感情ですが、それは自分を甘やかすことではありません。しかもいつた

<裏面に続く>



男子第1走 旭中はゼッケン20

みんなで築こう人権の世紀  
12月10日は人権デーです。  
～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～  
第67回 人権週間  
12月4日～10日  
法務局では、人権侵害による被害を受けた方を救済するための活動を行っています。お気軽に相談ください。  
みんなの人権 110番 0570-003-110  
子どもの人権 110番 0120-007-110  
女性の人権ホットライン 0570-070-810  
パブリックコメント: <http://www.moj.go.jp/JANKEN/jishen13.html>  
お問い合わせ: <http://www.jihoken.jp/jishoken/mailer/001.html>  
※このポスターは、人権週間推進委員会が作成しています。

ん下げたハードルはなかなか元に戻しづらいものです。自分の心のハードルを下げず、自分を鍛えられるのは自分自身でしかありません。こうしたことを考える中学生であってください。そして、家族のこと、友だちのこと、地域で会う人たちのこと、遠くで苦しんでいる人のこと、近くで悩んでいる人のことにも、この「人権週間」を機会に向き合ったり、考えたりしてほしいと願います。

## 夢と絆の講演会「夢をかなえよう」

2015. 11. 10

シンガーソングライターで絵本作家でもある“こんのひとみ”さんをお迎えして、「夢をかなえよう」というテーマで出前ライブを実施しました。

「将来の夢」「伝えたい思い」「家族へのありがとう」「友人へのありがとう」など、生徒たちの想いを事前にメッセージカードに書いてもらい、それを“こんのひとみ”さんが、即興でメロディーをつけて歌ってくれました。スクリーンの映像と歌を通じて語る“こんのひとみ”さんの出前ライブは、生徒たちにとって、夢をもつことのすばらしさ、家族・友人の大切さを強く感じとることができた講演会になりました。また、NHKみんなのうたでは、太田裕美さんの歌声で流れていた「パパとあなたの影ぼうし」を、作詞したご本人の歌声で聴くことができ、とても感動的なひとときでした。



(生徒代表 お礼の言葉)

こんのさんのお話を聞いて、自分の家族のことを改めて考えることができました。今は、家族がいなくなるなんて想像もできないし、まだまだ頼ってばかりです。なかなか素直になれなかったり、時には反抗的な態度をとったりします。だから、「家族は失ってからその大切さに気づくことが多い」という言葉が心の中に残りました。これからは、後悔だけはしないようにもっと家族との時間を大切にしていきたいと思いました。

## 美術の教科書に掲載されました！！

左の絵は、中学校美術科の教科書に掲載された旭中美術部生徒の作品です。この生徒は卒業していますが、旭中の風景（玄関前から右手に体育館と左手に北校舎）を描いています。残念ながら、この地区で使われる教科書ではありませんが、旭中生徒の作品が教科書で紹介されることはうれしく思います。



この教科書では「色彩や光の変化をとらえる」というテーマの作品例として、他の二つの生徒作品とともに掲載されています。このテーマに合わせ、「色彩や光の変化に注目してみましょう。色彩や光は、同じ場所でも、時間や季節によって違って見えます」と説明が書かれており、作品に対しては「晴れた日の光を明るい色彩で表現している」とのコメントが見られます。

旭中美術部は、毎年、県や国の教育美術展で多くの入賞者を出しています。その活動の成果の一つとして、多くの人の目にとまる教科書への掲載があったと言えます。

**交通安全に気を付けましょう。特に、自転車走行は交通ルールを守り安全に！**